

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>					0.40		-	<b>2.5</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.1</b>	0.15	<b>2.4</b>	1.00	<b>2.2</b>
1.1 騒音		【共用部】1階エントランスホール兼地域交流スペース:50dB(待合) 【住居部】1~3階居室:40dB(寝室)		3.0	0.40	4.0	0.40	
1.2 遮音				<b>1.8</b>	0.40	<b>1.6</b>	0.40	
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				1.0	0.60	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	1.0	0.20	
1.3 吸音				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.3</b>	0.35	<b>2.1</b>	1.00	<b>2.2</b>
2.1 室温制御				<b>2.5</b>	0.50	<b>2.1</b>	0.50	
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能				1.0	0.25	1.0	0.43	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	
2.3 空調方式				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.3</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>2.7</b>
3.1 日光利用				<b>1.8</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30	
1 日光率		【共用部】1階エントランスホール兼地域交流スペース:0.11%【共用部】1階相談室:1.19% 【住居部】2階居室:2.2%		1.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口					-		-	
3 日光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30	
1 昼光制御		【共用部】庇(バルコニー)【住居部】カーテン(庇(バルコニー))		2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25	
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.1</b>	0.25	<b>2.8</b>	1.00	<b>3.0</b>
4.1 発生源対策				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気				<b>2.0</b>	0.30	<b>2.6</b>	0.38	
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		1階ショートユニット居室9:0.079(1/15以上)			-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理				<b>5.0</b>	0.20		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視					-		-	
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	1.00		-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.4</b>	0.40	<b>4.0</b>	1.00	<b>2.8</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性		個室10㎡/人以上			-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応					-		-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				<b>1.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	0.40	
1 広さ感・景観		個室2.5m			-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					-		-	
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.9</b>	0.30		-	<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震				<b>3.0</b>	0.50		-	
1 耐震性				3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.0</b>	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:ステンレス鋼管(C)、排水:炭素鋼管(B)、給湯:ステンレス鋼管(C)、Eなし		4.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-	

2.4 信頼性			2.6	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			2.7	0.30	2.4	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり			2.2	0.30	1.8	0.50	
1	階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	【共用部】1階:0.23【住居部】2階:0.4	4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30		-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	ベンチの設置・地域交流スペースの確保・中庭の設置・防犯性(見通しのよいフェンス(ネットフェンス))	4.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI 0.88	4.0	0.20		-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.86 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50		-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a,3b)	BEI 0.86	4.0	1.00		-	
	集合住宅の評価(3c)					-	
4 効率的運用			2.5	0.20		-	2.5
	集合住宅以外の評価		2.5	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50		-	
	集合住宅の評価					-	
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水	水栓:自動水栓 節水型機器:節水型便器	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60		-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生砕石(路盤)	3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	*壁下地:GL工法、LGS下地(躯体と仕上材が容易に分別可、内装材と設備が錯綜せず取り外し可)	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20		-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒	新冷媒(R32)	4.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=89%	3.4	0.33		-	3.4
2 地域環境への配慮			2.9	0.33		-	2.9
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制					-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインチェックリスト(屋内・屋外・広告物)の過半を満たす	5.0	0.70		-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	